

中井だよい

中井やまゆり園

今、思うこと

生活第一課長 中山 則和

あれだけ暑かった残暑も終わり、最近では朝晩がめっきり寒くなってきました。体調を崩しやすい時期になってきていますので、ご家族・後見人の皆様も体調には十分ご注意ください。

6月より生活第一課長になりました中山です。昨年中井やまゆり園に戻ってきて、泉寮でSVとして勤務していましたので、海山寮の利用者の方たちのことも少しは知っていましたが、しっかり生活の様子を見させていただくことがなかったため、今は職員の方たちに聞きながら、海山寮の利用者の方たちの特徴を頭に叩き込んでいるところです。

さて、昨年从中井やまゆり園では今までの取り組みから大きく変わり、関わりを濃くし、積極的に声をかけ、集団を意識しながら、利用者の持っている力を発揮してもらう方向に支援が変わりました。そういう関わりをしていく中で、利用者自身がどういう生活をしていきたいのか、どういう生き方をしていきたいのかを、一緒になって考えていく取り組みをしています。もちろん言葉のない利用者の方も多いため、そういう方たちからは直接的な表現はなくても、寄り添って密に関わったり、一緒に色々なことを経験する中で表現してくれる様子から、私たち支援者が感じとることも大切にしています。

昨年1年間、それまでの支援をベースにしながらも、今までと180度違う関わり方をしてきました。最初は不安で仕方なかったことを覚えています。しかし利用者の方たちは、我々支援者の心配をよそに、適応力の高さを見せてくれました。その姿は長くかかわってきた職員にとっては感動を与えてくれたことと同時に、心配のし過ぎだったのかもしれないとわからせてもくれるものでした。

今も生活第一課の3つの寮では、それぞれの寮でこれまでの支援で理解が進んだ支援方法をベースにしながら、新たな取り組みにチャレンジしてくれています。そしてチャレンジすることで見えてきた利用者の方の新たな一面を肌で感じ、彼らの可能性を信じて、どういう生活を望んでいるのか、そこに向かうために何をしたらよいのか考えながら取り組みをしてきています。そういう前向きな職員と一緒に、私も成長していきたいと思いません。